

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
■ 地域の資源と人を活かした「しごと」を創出する		新規正規雇用者数 →大北地区企業説明会白馬高校からの参加者	観光課	30→8	30→8	30→8	16	13	50→25	・告知チラシの全戸配布、広報無線、白馬高校内で進路指導担当との更なる連携により、参加者数増加を図ります。 ・地方創生推進交付金事業の実施による新規雇用者創出効果にも期待をしています	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	・白馬で働きたいと思う人への周知を徹底させること。
	白馬産農産物ブランド化	白馬産米ブランド化 (取組み農家数)	農政課	-	5	7	9	9	10	継続して取り組みしています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・徐々に成果がみられているが、伸び悩んでいる感がある。ブランド化の魅力を生産者に伝える努力が必要なのかもしれない。 ・農作物の多様性を推進するため農家への支援が必要。
		紫米の消費量 (t)	農政課	6	7	7	7	6	8	異常気象 (猛暑及び雪不足) の影響が大きく、消費量が減となりました。			
特産農産物の振興 (栽培面積) (ha)		農政課	7	7	8	8.1	8.1	10	継続して取り組みしています。				
新たな創業支援と空き店舗の活用支援	空き店舗の斡旋と活用件数	観光課	0	1	0	2	1	5	商工会 (創業塾サポート協議会) と連携し、空き店舗活用を推進します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・創業塾の成果がみられ新規創業者が増加しているのは良い傾向。創業後に継続できるような支援も考えて、定着を図ってほしい。	
	店舗後継者数	観光課	0	0	0	0	1	3	商工会の取り組みを支援します。				
	新規創業者数	観光課	3	5	9	4	8	10	創業塾の成果が顕著に現れています。引き続き創業者支援に取り組みます。 ※実績値は年度集計				
グリーンエネルギー・自然エネルギーの利活用	ペレットストーブ購入補助件数 (累計)	農政課	5	12	15	20	22	30	県の補助金の付きが年々悪くなってきました。下方修正 (30→25)	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.2	・小水力発電は順調にしているが、これに満足せずさらに進めていくことを願う。	
	ペレット販売袋数	農政課	689	971	1,085	1,432	1,259	1,000	暖冬により昨年より減となりました。				
	小水力発電量 (万KWh)	農政課	-	108	115	120	127	100	農政課：発電計画時の年間可能発電電力量には至っていませんが、安全運転により順調に稼働しております。				
グリーンシーズンの観光振興		観光客数 (4~11月) (万人)	観光課	113	100	117	108	122	120	民間投資によるグリーン期のハード施設も整備され、アウトドアアクティビティを軸とした観光資源が強化されています。引き続き地方創生推進交付金事業の継続実施と民間事業者の取り組みを支援し、観光所得の平準化を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・民間事業のみに頼ることなく、村の隠れた魅力を発掘発信し、村内滞在時間を増やす工夫が必要。 ・公共トイレが必要 ・更なる推進に期待する。

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
	道の駅の建設と地域経済循環システムの構築	道の駅売品収入額 (百万円)	観光課	249	230	219	230	207	300	・白馬村の特産品、農産品を集約した道の駅独自のネット販売サイトの構築を図るなどの、指定管理者の取り組みを支援します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.1	・現在の道の駅ではやはり限界がある。その中で課題を整理し、道の駅整備につなげてほしい。 ・特産品農産品のコーナーの面積が少ない。
	観光業の体力強化に向けた計画の推進	観光客数 (万人)	観光課	224	209	218	220	239	250	・来訪者実態調査、モバイル空間統計など基礎データの分析により、村内の観光資源をターゲットし、DMOの効果的なプロモーションの取り組みを支援します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	・今回のコロナの関連で今後インバウンドに頼る危うさも出てきた。新たな戦略を考えていかねば観光産業が厳しくなるかもしれない。 ・今年にはインバウンドには期待できないため、日本人の集客に力を入れる。 ・今回のコロナのようなことがあると国内県内へのアピールも重要と感じます。
		外国人観光客延宿泊数	観光課	77,724	100,310	113,970	164,377	集計中 (6月頃 発表予定)	100,000	・来村した外国人観光客が、安心してまちあるきを楽しめる環境整備に取り組みます。あわせて、持続可能で魅力ある滞在環境を促進するため、観光・宿泊施設のイノベーションに取り組みます。			
	看護師と介護職員等の安定雇用	新規就業者 (看護師) ⇒医療従事者数 (看護師・准看護師) ※出典 長野県衛生年報 (隔年)	健康福祉課	0⇒ 57	64	-	57	-	2⇒ 65	看護師の確保には、どの機関も苦慮している状況が続いています。各事業所と連携を図りながら、専門職の確保に努めます。 ※指標の見直しを行いました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.1	・人材不足は全国的なので、なかなか難しい。白馬の住み易さをアピールして他地域から呼び込むなどする働きかけも必要かも。 ・資格のある人を調査して、働きた推職場にする事。(3歳未満の子がいる人等) ・人材不足は内容がきつから。施設の雇用人数の基準は見直さなければ、人材は集まらないと思われる。 ・勤務体系給与などとも合わせて職場環境や状態がより良い方向へ行くことが望まれます。
		新規就業者 (介護職員) ⇒介護人材養成講座受講者数 (累計)	健康福祉課	0	6	13	25	28	4⇒ 30	介護人材不足は、慢性的な状況ですが、生活支援などを担う人材養成講座を、広域連合、大北5市町村合同で開催しました。 ※指標の見直しを行いました。			
■ 白馬への新しい「ひと」の流れをつくる		人口の社会増数	総務課	111	57	170	312	185	111	官民協力し、村の魅力向上に努め人口維持、増を図ります。平成30年度より移住交流のための地域おこし協力隊を採用し移住施策に取り組みました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	
	魅力ある白馬への移住・定住支援	移住者数	総務課	-	66	15	76	19	20	窓口アンケートにより捕捉。令和元年度は住民課窓口との連携不足によりアンケートの配布漏れがあったため、庁内での連携をしっかりと図り、実数の把握に努めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	・移住者の支援は必要であるが、白馬の伝統を守る指導も必要。
		地域おこし協力隊員数	総務課	3	5	7	9	8	10	令和元年度中に2名の任期途中の退職がありました。引き続き定住につながる工夫、協力隊の活動の周知等行います。			

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
		サテライトオフィスの設置企業数	総務課	-	0	1	1	0	1	平成30年度末までフルワービレッジをサテライトオフィスとして活用していましたが、ヤフー株式会社が撤退し、現在は本社企業1社（しくみ株式会社）となっています。施設の活用としてしくみ株式会社より2社に施設の貸し出しを行い空きスペースの活用も行っています。テレワークの利用者も増えているため、引き続き利用者の増加に向けた施策を進めます。			
		移住定住フェアの開催回数	総務課	0	1	2	3	4	2	引き続き広域連携を含め、白馬村単独だけでなく、圏域への魅力を創出していきます。			
	地域高校である白馬高校の魅力化	他県からの入学者数	総務課 (白馬高校支援)	0	13	18	15	20	15→21 (実数)	入学者数においては、県内他地区及び県外生が数多くっており、国際観光科の知名度もかなり浸透しているものと考えられます。今後は、通学可能な生徒の確保に力をいれ、地元生へのアピールを行っていく方法を考えています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・他県からの入学者と地元の入学者が増加しているのは良い結果。しろま学舎による補習などの魅力を抱き合わせて底上げが測れると良い循環ができていくと思う。 ・他県募集も必要であるが、地元や県内の子供たちの入学させることが必要。 ・村の子供に村のいいところを知ってもらう機会が多くあると良いと考える。
	外国人の児童・生徒に対応した教育環境の整備	外国人住民登録者数	教育課	177	245	445	468	514	240	平成30年度までは県費の日本語指導員でしたが、令和元年度から村単独で講師を雇用しています。支援員を活用した取り出し指導や補充的な指導、チーム・ティーチングにより、外国籍児童生徒の指導体制を行っています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・外国人が着実に増えている中で、それに対応した行政がより求められる。成果はこれから出てくるので、着実に施策を実行してほしい。
	都市部からの児童・生徒の受け入れ	受入留学生数 →小中学校転入児童生徒数 (KPI変更)	教育課	0	8	13	15	10	10	子育て支援施策が移住定住施策につながるように、妊娠期から子育て期にわたる総合的な子育て支援施策の充実に努めてまいります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・目標は達成しているが、前年より減っていることが気になる。
■ 若い世代の結婚・出産・子育ての「きぼう」をかなえる		年間出生数 (累計)	健康福祉課→ 子育て支援課	63	43	46	46	41	350	年間50人の目標には届きませんでした。引き続き、子育て環境を整備し、出生数の増加を促進します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.2	・出生数のコントロールは難しいが、経済的な支援も含め、魅力的な施策により、気運が出てくるとは思うので、努力してほしい。 ・結婚出産は個人のことなので、行政の努力では難しいことも多いと思うが、その環境づくりが行われ、希望が持てるようになることが望まれます。

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
安心・安全な妊娠・出産への支援		合計特殊出生率	健康福祉課→ 子育て支援課	1.19	0.87	1.07	1.22	1.01	1.30	合計特殊出生率は年毎に微増減があります。子育て支援施策の充実により、現在、子育て中の方が、弟妹を望めるよう子育て環境を整備し、出生率の向上を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.7	・新生児家庭との信頼関係を気付くことに力を注いでいる成果がみられる。その後の子育てにつながるのでいい取り組みだと思う。
		妊婦基本健診受診率	健康福祉課→ 子育て支援課	97.1%	97.5%	100.0%	100.0%	100%	100%	里帰り出産時の健診を補助し、全員の利用が図られています。			

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
		新生児訪問実施割合	健康福祉課→ 子育て支援課	74.6%	93.1%	86.7%	84.8%	89.5%	100%	出産後1か月以内を目途に、可能な限り自宅を訪問し、子育ての始まりを支援し、基盤となる信頼関係の構築に努めます。里帰り出産や外国人等、訪問ができない場合は、個々の状況により随時、対応しています。			
子育てへの安心サポート	休日保育の利用者数	子育て支援課	213	259	234	343	475	270	出生数は数年前に比べると減少していますが、観光産業が主産業である本村では、休日保育の需要は増加しています。それに対応するため、通常勤務をしている保育士が交代で休日保育の業務にあたっている状況です。増加傾向にある休日保育の需要に応えるには、保育士の確保が重要となるため、それらも含めて保育事業の充実に努めて参ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	4.0	・子育て支援の取り組みは全体的にうまくいっている。とてもいい傾向だと思う。この分野のいい情報が周知されれば、子育て世代の移住促進や出生数の増加にもつながると思うので、今後もより充実するように努力してほしい。 ・共働き家庭が多いため、時間外等工夫が必要。	
	放課後児童クラブの利用者数	子育て支援課	351	464	432	448	527	470	共働き世帯や自営業世帯が多い本村では、特に観光産業の繁忙期を中心に需要が高まっており、今後も事業を継続実施する体制が必要です。あわせて他の放課後の子どもの居場所づくり施策についても、検討して参ります。				
	子育て支援センター個別相談件数	子育て支援課	44	52	46	256	635	60	子育て世代包括支援センター開設に伴い、妊娠期から18歳までの各種相談対応を一本化しました。さらに、母子保健事業を加え全ての子育て施策が一元化された結果、相談件数も増加しております。				
婚活サポート事業	婚姻数（累計）	総務課	41	61	113	138	134	270	若者交流事業がきっかけとなるよう、出会いの場を創出していくとともに、個別のマッチングについても他の機関とともに検討を進めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・目標値には遠いが着実に伸びているのは良い傾向と思う。民間ともタイアップしながら出会いの機会を増やす努力を続けてほしい。 ・気軽に交流できる場を多くする。	
ICTを活用した教育の推進	中学校タブレット活用授業（延べ人数）	教育課	0	48,000	46,480	49,100	789	900	全校生徒1人1台のタブレット端末配備が完了しています。導入目的であった、「主体的対話的な学び」に寄与するように、ICT支援員を活用して、教員のICT活用指導力の向上を図ります。また令和2年度には初年度導入の端末の更新時期がきますので、計画的な機器更新を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.7	・中学校で、早くからタブレットによる授業が行われたおかげで、今回のコロナによる休校でも、リモート授業へ移行しやすかった。 ・今後はその活用方法を研究して、効果的に利用できるよう行政サイドからも情報提供できるとよい。 ・タブレットの活用は評価する。特にコロナ対応。	

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
		小学校タブレット活用授業 (延べ人数)	教育課	0	0	1,858	2,098	657	690	情報端末はクラス単位で1人1台が使用できるように整備してありますが、施設の老朽化などもあるため現在は新たな整備をしていない状況になっています。今後はプログラミング学習等も見据えるなかで、両小学校と整備方法などを検討していきたいと思います。			
■ 将来にわたって住み続けたい魅力ある「まち」をつくる		新築住宅戸数 (累計)	税務課	28	94	133	183	228	230	専用住宅・併用住宅を合わせて45棟が新築されました。さらに旅館・ホテル・簡易旅館は、52棟建築されています。しかしながら、新型コロナウイルスの影響が未知数であることから先行き不透明な状況です。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・住宅が増えても居住する人が増加しないのでは意味がない。また、景観に配慮した建物になるよう指導を徹底することも必要。 ・建物の数だけでなく、永住できるよう指導する。 ・新しく建築されたところが今後どう動くのか少し心配
	地域包括ケアシステムの構築	介護予防取組グループ数	健康福祉課	19	19	22	22	23	24	新規に介護予防活動を行う団体が1団体増加しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.7	・支え合いマップは、その作成過程でも、つながりを確認することにもなるので、全地区での作成が進むよう支援してほしい。 ・更なる支援に期待する。
		災害時支え合いマップ作成地区	健康福祉課	17	17	19	21	24	30	平成22年度から毎年マップ作り講習会を開催してきており、昨年度は3地区が新たに作成し、策定済みとなった地区は24地区となりました。マップは災害時だけでなく、日常の地域での支え合い活動に活用できるため、引続き講習会を開催して行きます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない		
健康づくり支援		特定健診受診率	健康福祉課	47.1%	53.5%	55.4%	55.6	50.8% (速報値)	60.0%	平成30年度の確定数は55.6%。年々ほぼ変わらず推移していますが、目標60%を目指します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.7	・特定健診受診率が上がらない原因を探って、対策をとる必要がある。呼びかけだけでは伸びないと思う。 ・検診の重要性を村民に周知する。
		特定保健指導率	健康福祉課	73.3%	66.7%	67.7%	68.6%	未確定	75.0%	平成30年度の速報値は68.6%です。令和元年度は未確定です。目標達成を目指します。			
		食育ボランティア登録者数	健康福祉課	20	27	29	28	28	30	ボランティアの高齢化により、退会する方もでてきています。新規会員の登録に努めます。			
小集落への集落支援員の配置		集落支援員数	総務課	0	0	2	3	4	2	小規模集落支援が中心ですが、非常に助かっている旨の意見をいただきました。令和元年度は外国人対応の支援員を増員しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	4.0	・集落支援員による成果は出ているので、今後も数を増やして、きめ細かいサービスができるといい。 ・支援員の更なる活動を望む。

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
	安心な生活を守る買い物支援	支援車両の運行台数→ 買い物を目的としたデマンド型乗合タクシー の乗客数	健康福祉課	857⇒ 7,729	954⇒ 7,855	908⇒ 6,898	869⇒ 7,380	8,676	1,000⇒ 8,100	乗客数は前年度比18%増加しました。 しかし土日祝日及び17時便の実証運 行の利用者は多くありませんでした。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・支援車両による成果は出ている ので、今後も数を増やして、きめ細 かいサービスができること。 ・利用者が着実に延びているのは、 村内公共交通を考えていく点でも 重要と考える。アンケートなどでニ ーズを把握し、より効率のいい運用に なるよう努めてほしい。 ・デマンドについて村民周知を徹底 する。 ・更なる利用者目線の運航を期待
	汎用防災アプリケーションシステム構築による防災対 策	アプリダウンロード数 (累計)	総務課	0	0	アンケート調査・ 方針決定	構築	仕様確定及	3,000	事業者が決定し、アプリの制作が始まり ました。令和2年度中に公開をし、多く の方に利用されるように、周知に努めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.1	・成果は公開後となると思うが、より 多くの人が迅速で的確な情報を得 られるよう、周知と運用に心掛ける よう期待する。 ・早急に対応してほしい ・自然災害等多くある中、アプリの 有効活用に大きく期待します。
	図書館建設による情報発信と広域連携	図書館来場者数	生涯学習スポーツ課	12,800	12,920	13,811	15,274	15,048	25,000 → 16,000	来館者数は微減となりましたが、貸出冊 数は前年比+5%でした。より多くの人が 訪れる図書館となるよう努めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	・目標には達しなかったものの、近 年着実に増加しつつある。新図書 館建設に向かって、村民の関心を 高めるためにも、図書館からの働き かけは重要。 ・新図書館建設が交流の場を広げ るきっかけになることを期待します。
	ごみ処理の広域化とごみの減量化	焼却ごみの削減 (t)	住民課	3,135	3,106	2,898	2,856	2,931	2,900	令和元年は平成30年と比較して、大 町市・白馬村・小谷村(ごみの共同処 理をしている市村)とも焼却ごみの量 が増加した結果となりました。 今後も、「分ければ資源、混ぜればご み」の観点でごみの分別を推進するた め、ごみの出し方早見表(英語版も作 成済み)の全戸配布、行政区別のごみ 分別の講習会開催を継続していきま す。 また排出抑制として、プラスチックごみの 削減のため長野県が推進する信州プ ラスチックスマート運動の3C(チョイス (意識して選択)、チェンジ(すこしづ つ転換)、コレクト(分別して回収)) について、この3Cを意識した消費行動 を消費者に、販売行動を事業者に継続 して周知していきたいと考えます。 なお、新型コロナウイルス感染症の影 響で衣類・布類について、主要国への輸 出が停止しリサイクル待ちが多量となっ たため、令和2年6月から衣類・布類の回 収が停止することから、焼却ごみの増加 が懸念されます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	・ごみの減量化がなかなか達成でき ていない。原因を探るとともに、個人 事業者への指導強化他、補助、 生ごみ処理への具体策の広報等、 積極的な対策も必要なかもしれ ないので、検討してほしい。 ・ごみの処理についてはもっと詳しく 理解させ、常に自覚を持たせること を周知する。

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
		リサイクル率	住民課	21%	22%	21%	20.0%	(今後国 が実施す る統計調 査で確定 10月 頃)	30.0%	リサイクル率が平成28年度から1%づつ減少していますが、焼却ごみ量も同じく減少しています。リサイクル率向上のため、分別の徹底と4Rを意識した消費行動を消費者に、販売行動を事業者に周知していきたいと考えます。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響で衣類・布類について、主要国への輸出が停止しリサイクル待ちが多量となったため、令和2年6月から衣類・布類の回収が停止することからリサイクル率の低下が懸念されます。			
新たな広域連携による地域力の向上と経済・生活圏の形成	新たな広域連携で取り組む事業分野		総務課	0	4	7	9	9	8→10	大北地域で連携して実施する市町村の広域連携推進事業として取り組んでいます。令和元年度は未就学児対象眼科屈折検査事業に代わり魅力体験ツアー開催事業を行いました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・着実に広域連携が進んできている。生活圏という考え方が今後重要になっていくと思われるので期待したい。 ・更なる活動に力を入れる。